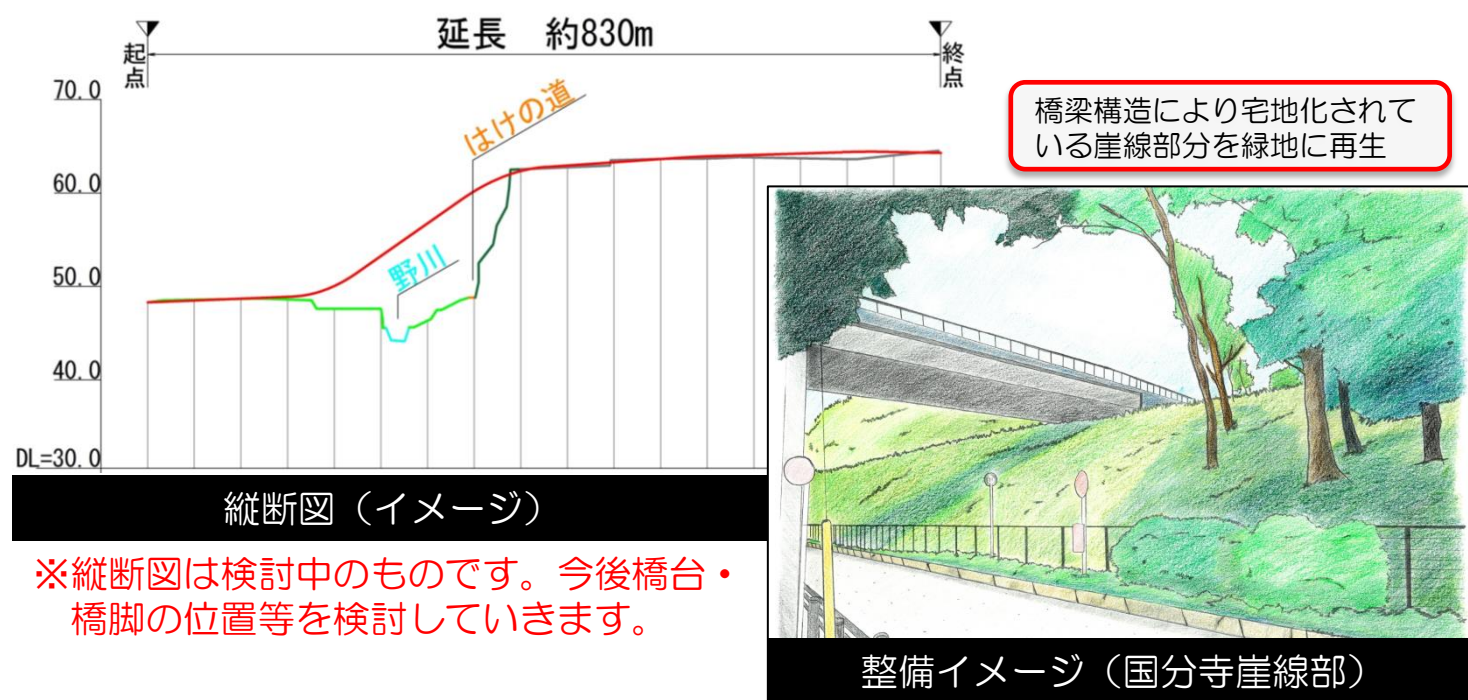
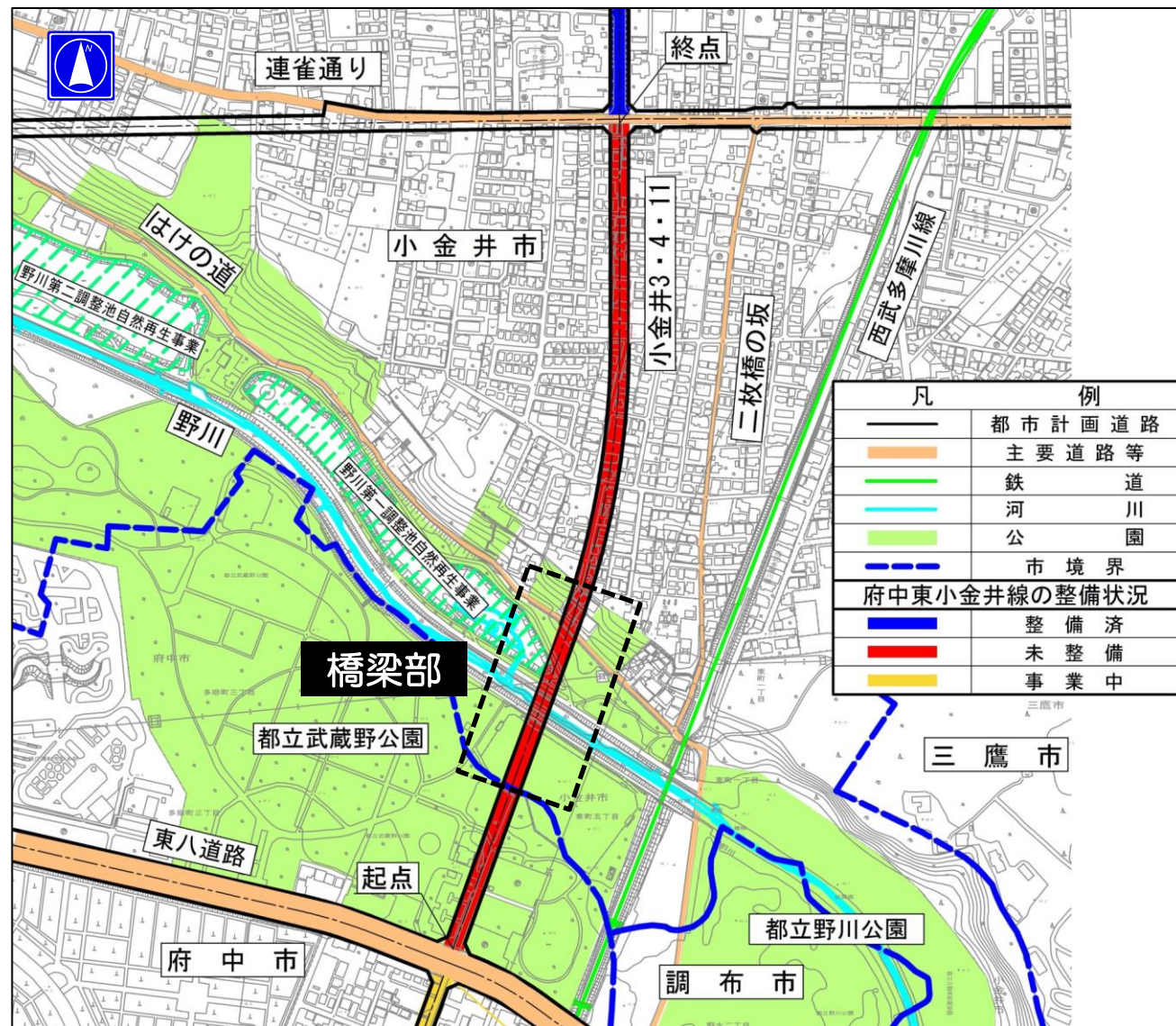


環境に配慮した取り組み（橋梁案）



※縦断面図は検討中のものです。今後橋台・橋脚の位置等を検討していきます。

問合せ先

東京都 建設局 道路建設部 計画課

東京都 北多摩南部建設事務所 工事第一課

TEL 03-5320-5323

TEL 042-330-1837

『小金井都市計画道路3・4・11号線』に関する意見交換会（第2回）資料

～平成30年1月26日（金曜日）～

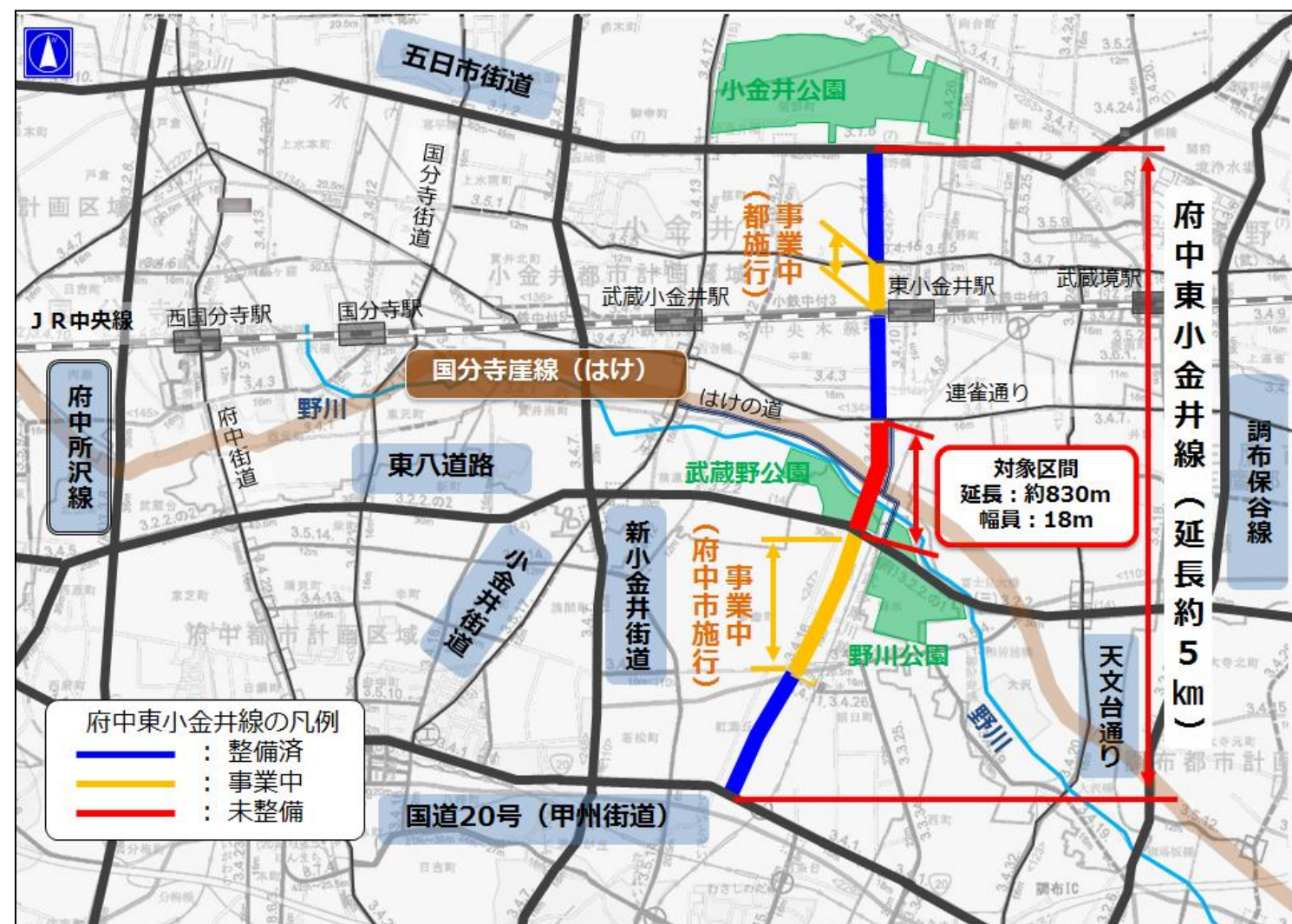
小金井都市計画道路3・4・11号を含む府中東小金井線は、甲州街道を起点として五日市街道に至る延長約5 kmの都市計画道路です。

平成28年3月、東京都、特別区、26市2町で策定された第四次事業化計画において、新たに優先整備路線として選定されました。

本路線は、貴重な自然が残る「国分寺崖線」や「野川」、「武蔵野公園」と交差することから、環境や景観にどのように配慮すべきか、事業実施前に市民の皆様と意見交換させていただくことにいたしました。

今回対象区間の概要

- 路線名 小金井都市計画道路3・4・11号府中東小金井線
- 計画区間 府中市多磨町二丁目～小金井市東町五丁目
- 延長 約830m
- 計画幅員 18m（2車線）



東京都建設局

小金井3・4・11号線の必要性

- ① 広域的な道路ネットワークの形成
- ② 小金井街道をはじめとする周辺道路の渋滞緩和
- ③ 生活道路への通過交通の抑制による良好な居住環境の確保
- ④ 広域避難場所へのアクセス性向上による地域の防災性強化

現状と課題

周辺道路の交通渋滞



○周辺地域では、南北方向の道路は天文台通りと小金井街道である

○約3.6 kmにわたり、南北の道路がない状況である

○小金井街道や新小金井街道等で渋滞が発生している



生活道路への通過車両の進入

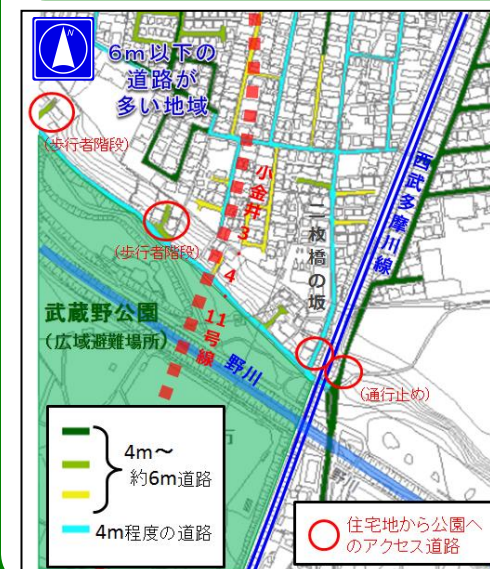


○本路線が整備されていないことから、通過交通が二枚橋の坂（生活道路）へ進入している

○歩行者や自転車が幅員約4～5mほどの狭い道路を通過車両をかわしながら通り抜けている危険な状況となっている

○市では、朝の通学時間帯及び午後から夕方までの時間に、交通誘導員を配置するなど交通安全対策を強いられている

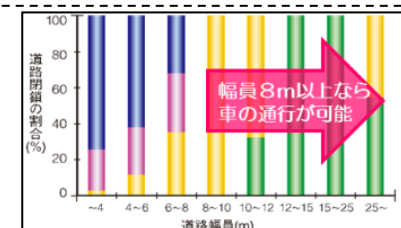
震災時の避難路の不足



○広域避難場所の武蔵野公園へ避難するには、崖線を降りていく道を通行しなければならない

○通行する道は、幅員4～6m程度で極めて限定的である

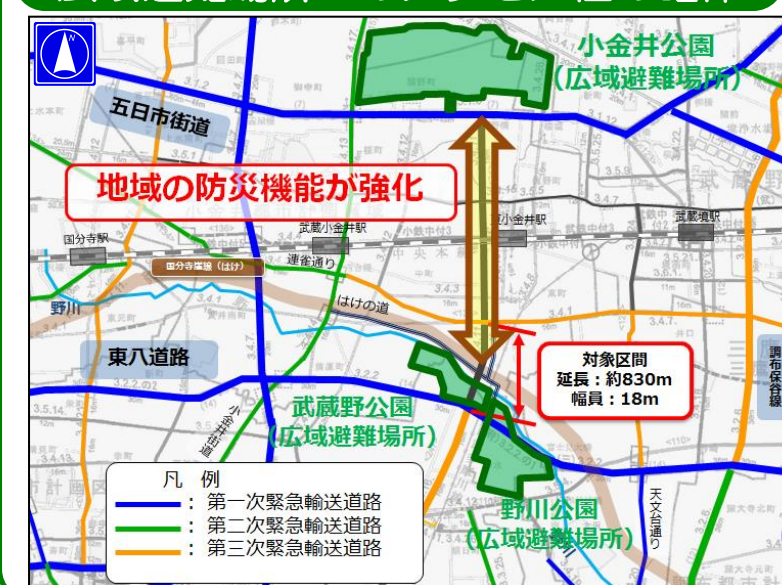
○公園へのアクセス道路
4箇所のうち、車の通行ができる道路は1箇所であり、幅員4m程度となっている



阪神淡路大震災時における道路幅員と道路閉鎖の関係
出典：新時代のまちづくり・みちづくり(都市整備研究会)



広域避難場所へのアクセス性の確保



○小金井公園、武蔵野公園、野川公園は広域避難場所となっている

○小金井公園は多摩では8箇所ある大規模救出救助活動拠点候補地であり、大規模災害には、全国から救出・救助部隊が駆けつけ、ベースキャンプなどの活動拠点になる

○小金井公園と武蔵野公園が道路で結ばれることで、地域の防災機能が強化される

周辺地域の貴重な自然への配慮



○周辺地域は、はけと呼ばれる国分寺崖線や野川、武蔵野公園など、貴重な自然（雑木林、緑地、湧水等）が色濃く残っている地域である

○道路整備にあたっては、貴重な武蔵野の環境や景観に配慮することが重要である

環境や景観に配慮した本路線の整備が必要